

ひるがみ

第 78 号

令和元年 11 月 10 日

発行

障害者支援施設
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395 - 0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>

十月十二日、秋の家族交流会を開催する予定でしたが、天候により利用者の皆様との秋の運動会・昼食会に変更させて頂きました。

秋の運動会

運動会は、「簡単な運動で利用者の力を発揮できる。また、参加者全員が怪我無く安全で楽しく」をテーマに行いました。



今年も沢山の作品を展示することができました。

予め、紅白に分かれて大玉送りと運試しを行いました。運試しは、長短各種の紐を利用者全員で引き、結んだ紐の長さを競いました。短い紐を引いた時は、「あー」と残念な声や、長い紐を引いた時は、「やったー！」と喜んで頂き、大いに盛り上がりました。職員参加のゲームや、レクダンスで利用者全員と触れ合い、楽しかった運動会は終了しました。



大玉送りは大盛り上がりでした。

た。
昼食会では、カレーライスに希望したトッピングやデザートを堪能して頂きました。
また、今年も利用者・職員・ご家族の作品や、職員による「私のベストショット」を園内に展示しました。

利用者の皆様と楽しく交流会ができた事を嬉しく思います。来年度は台風が来ないことを祈り、多くのご家族に参加して頂ける事を心よりお願い申し上げます。

(T・K)



ベストショットの展示を行いました。

下伊那社会福祉会四十五周年記念式典

九月二十六日、私も下伊那社会福祉会四十五周年記念式典をシルクホテルで、飯田市内及び下伊那郡内の自治体や施設関係者を招き盛大に開催しました。

岡庭理事長から「阿智温泉療護園は地域の身障者のニーズに応える最終的なセイフティネットであり、今後もその役割は変わらな



福澤常務が経過報告を行いました。



多くの方に参列して頂きました。

いと思います。日々の実践を地道に丁寧に取り組み、そこに集う人々の想いを実現できるように施設の運営に力を注いでいく所存であります。」とあいさつが有りました。

出席した職員からは「法人の伝統の重みを感じました。これからも初心を忘れず頑張っていきたい。」との声聞かれました。(Y・S)

全国身体障害者施設協議会 研究大会に参加して

八月二十七、二十八日に札幌市で行われた第四十三回全国身体障害者施設協議会研究大会に参加しました。全国の身体障害者施設から、千人超ほどが集まる大きな大会です。

初日は、皆の記憶に焼き付いている長野オリンピックスキージャ

ンプ金メダリストの、船木和喜氏の記念講演がありました。現在、

スポンサーとなるような会社を立ち上げ、ジャンプに関わる子供の支援、環境整備を行いながら本人も現役を続けている、との話でした。二日目、実践発表。それぞれの施設の発表

を選んで参加しました。当園でも取り組んでいる、ノーリフトケアの発表がいくつもあり、否定的意見もあるが、安心、安全な介助、職員の腰痛予防になるとの事でした。

皆、より良い介護をめざし、努力していると感じ、自分も常に「どうしたらよくなるか」と考えていくべきだと改めて思いました。(C・K)

介護員室だより

私たちはKさんの話を聴いた事ありません。調子の良い時には『あいうえお表』を使い指で示してくれる文字で話したい事を知り、会話をします。

ある日の会話では

『ぶす』と指差したため「私が『ぶす』ならKさんは何なんですか?」と聞くと『にまいめ』『くささか

りまさお』と指差し、いたずらっ子のように「ひ、ひ、ひ。」と声を出し笑う姿が印象的でした。

夜勤明けで髭剃りの

介助に行くと、疲れているように見えたのか、あんなに肩を揉んでくれたりします。今日はどんな言葉が見られるのかな。いたずらっ子のような笑顔が見られるのかな。と思いつつ仕事を向かいます。(M・W)

夏祭り



夏真っ盛りの八月十日当園にて夏祭りを行いました。

利用者様には、射的・たこ焼き・かき氷を楽しんで頂き夏の風物詩を満喫して頂けたのではないかと思います。射的に関しては全ての利用者様が楽しんで頂けるように、職員が補助しながら水鉄砲を用いて行いました。トイレットペーパーに重りになる物をぶら下



本格的な射的を楽しみました。

げて、トイレットペーパーが水で溶けて落ちたら景品をゲット出来る要領で行いました。中々重りが落ちずに四苦八苦しながらでしたが、皆様笑顔で楽しんで頂きました。たこ焼き・かき氷も普段あまり食さないものなので、随分喜んで頂けたと思います。季節を感じるレクレーションは大変意味があると思っ



たこ焼きとかき氷を食べました。



心肺蘇生訓練の様子になります。

当園では防災関連の訓練といたしまして火災避難訓練を二回、その他地震防災訓練と心肺蘇生法訓練を各一回行っています。今回は心肺蘇生法と地震総合防災訓練の様子をお伝えしたいと思います。九月四日に心肺蘇生法の訓練を飯田広域消防より講師の方をお招きして行いました。訓練用の人形を二体用意して頂き胸部圧迫法と人工呼吸法、AEDの

心肺蘇生講習会&地震総合防災訓練



地震総合防災訓練の様子になります。

取り扱い方法を学びました。十月十日に地震防災訓練を行いました。地震発生時の初動訓練、非常電源（プリウス）の取り扱い方の講習、夜間には職員の非常通報訓練を行いました。毎年行っている訓練ではありますが、繰り返しです事であり、繰り返す事でいざという時に備えています。

(O・T)

開設四十周年にあたり 利用者さんから一言

◇三十年間も生活出来て良かったです。ここまで来れたのは職員さんのおかげです。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。(M・Y)
◇平成三年の三月一日から入所したんだに。別れもあつたし、入院もしたけど今は元気になっていきます。これからもよろしくお願ひします。(C・K)
◇あれからもう何十年も経ちました。昔の事を振り返って楽しかった事もありました。色々な塗り絵をしたりうまいくかないとかんしゃくを出したりしました。でも、それが生きていく証かなあと思

(Y・H)

阿智第一小の皆さん



後日、お礼の文章と写真を頂きました。

今年も阿智第一小学校の六年生の皆さんが合唱の交流会に来て下さいました。コンクールで歌う予定の曲や、NHKの朝ドラの曲など私達や利用者の方にもなじみのある曲を披露して下さいました。澄んだ歌声に目を潤ませてくれる人も見られました。「心が洗われる」とはこんな時なんだと感じました。

た。

合唱が終わると、今度はグループに分かれ自己紹介等話を楽しみました。小学生の皆さんは皆笑顔でハキハキ答えてくれて私達も気持ち良くなります。利用者さんの中には共通の話題があり歓喜していました。

最後に利用者さんが手作りした雑巾のプレゼントがあり、和やかに終了しました。どうか来年も来て頂けますように。(F・I)

パネルシアター

八月十八日に『かづみ&えみ』さんによるパネルシアターが行われました。

えみさんの演奏ときれいな歌声に合わせて、かづみさんは車椅子に座り、お母さんに手伝っ

てもらいながら、たこ焼きを作る過程や、アイスクリームの歌の歌詞に合わせて絵を動かし物語を演じてくれました。たこ焼きもアイスクリームも美味しくてしまいました。かづみさんは、発作で意識を失った後、体が思う様に動かず、自暴自棄になってしまったことがあったが家族の支えもあり、絵を描いたり、パネルシアターが出来るまで回復したという話もしてくれました。



きれいなパネルシアターでした。

最後に、暗い中で花火などの光るパネルも出してくれたのがとてもきれいで、印象的でした。(C・H)



イルミネーションのようでした。

インフルエンザ=二面会=

インフルエンザの流行する時季となりました。感染防止のため、ご面会については場所を制限させて頂くか、風邪気味の方やインフルエンザに罹っているご家族がいらっしゃる方などはお断りさせて頂く場合がございます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

現況報告

令和元年十一月一日現在
利用者 四十七名
職員 四十四名
(非常勤職員を含む)

秋の家族交流会中止について

秋の家族交流会を十月十二日に開催する予定で計画して参りましたが、台風十九号接近のため、参加者の皆様の安全を考慮致しまして中止させて頂きました。

誠に申し訳ございませんが、状況をご賢察の上ご理解頂き、今後とも当園の運営、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

